

## 放射線管理手帳への眼の水晶体及び皮膚の等価線量の記入方法について

見直し前	見直し後
<p>P88</p> <p>⑤等価線量（水晶体、皮膚）</p> <p>放射線測定器により評価された水晶体および皮膚の等価線量が、<u>実効線量（外部被ばく）を超えた場合に</u>、上段に水晶体の等価線量、下段に皮膚の等価線量をミリシーベルト単位で記入する（<u>記入数値は、小数点以下1桁とする。</u>）。</p>	<p>⑤等価線量（水晶体、皮膚）</p> <p>放射線測定器により評価された水晶体および皮膚の等価線量が、<u>実効線量（外部被ばく）と異なった場合に</u>、上段に水晶体の等価線量、下段に皮膚の等価線量をミリシーベルト単位で記入する（<u>記入数値は、小数点以下1桁または2桁とする。</u>）。</p>